

日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 今後の活動に向けたアンケート

アンケートの趣旨

本アンケートは協議会を効果的に進めていくために行うものです。次回（第8回）の協議会では「ごみ減量・資源循環に向けて～自分たちができること～」をテーマにワールドカフェ方式（お茶を飲んでくつろいでいるような雰囲気以小グループでメンバーを入れ替えながら対話する方式）による対話を行っていきたいと考えております。今まで取り組まれてきたことをベースにこれから取り組みたいこと等を話し合っていきたいと思います。この度、ごみゼロプランの改定を行いました。施策が多岐に渡っているため、皆様がどのような施策に興味関心があり、重要と考えられているのかを少し思い描きながら、話し合いができればと思っております。その他、今後の協議会での議論や施策に活かすためのアンケートも含まれております。よろしくお願いいたします。

質問項目

Q1: 氏名をご記入ください。

Q2: ごみゼロプランの施策の中で特に力を入れていった方が良い施策を選択してください。

Q3: 今後、さらなるごみ減量・リサイクルに向けて、協議会の議題として取り上げた方がよいものはありますか。

Q4: 会議の進め方として、このような方法で進めた方がよいということがあれば教えてください。

Q5: ごみ情報誌「エコー」でどのような記事を読みたいですか。

Q6: その他、協議会に対するご意見があれば、ご記入ください。

回答率

15/19 78.9%

（交代の学生を除く）

Q2:ごみゼロプランの施策の中で特に力を入れていった方が良い施策を選択してください。

得点順	人数順	項目	人数						得点					
			1位	2位	3位	4位	5位	合計	1位 (5点)	2位 (4点)	3位 (3点)	4位 (2点)	5位 (1点)	合計
1位	1位	4-2-3-⑤プラスチック類の減量及び分別回収・リサイクルのための働きかけ	1	4	3	0	0	8	5	16	9	0	0	30
2位	1位	4-3-1-①情報紙・市報等による普及啓発・情報提供	1	2	2	1	2	8	5	8	6	2	2	23
3位	4位	4-1-1-④ごみの減量意識向上に繋がるシステムの導入検討	3	1	0	0	1	5	15	4	0	0	1	20
4位	4位	4-3-1-②ごみ学習推進プログラム	2	1	1	1	0	5	10	4	3	2	0	19
4位	7位	4-1-2-⑧生ごみの更なる減量に向けた取組み	3	1	0	0	0	4	15	4	0	0	0	19
6位	3位	4-2-2-④事業系食品廃棄物減量・リサイクルに向けた取り組みの推進	0	0	4	2	1	7	0	0	12	4	1	17
7位	4位	4-1-1-⑥拡大生産者責任の徹底に向けた働きかけ	1	2	0	1	1	5	5	8	0	2	1	16
8位	7位	4-2-2-②家庭内における生ごみの減量・資源化の促進	2	1	0	0	1	4	10	4	0	0	1	15
9位	7位	4-1-1-③リユースの促進	1	0	1	1	1	4	5	0	3	2	1	11
10位	7位	4-2-2-③地域内での生ごみ循環の促進	0	1	0	3	0	4	0	4	0	6	0	10
11位	12位	4-1-1-⑤推進体制の強化	0	1	1	1	0	3	0	4	3	2	0	9
12位	7位	4-2-5-⑦リサイクル品目拡大・拡充の検討	0	1	0	1	2	4	0	4	0	2	2	8
13位	14位	4-4-3-⑤災害時対策の強化	1	0	0	0	1	2	5	0	0	0	1	6
14位	14位	4-1-1-②レジ袋の削減・指定ごみ袋の工夫	0	0	1	1	0	2	0	0	3	2	0	5
15位	12位	4-1-1-①容器包装お返し大作戦・販売店回収の強化	0	0	0	1	2	3	0	0	0	2	2	4
15位	14位	4-2-1-①分別状況確認の強化	0	0	1	0	1	2	0	0	3	0	1	4
15位	14位	4-5-3-⑤市民との連携によるごみ減量・適正処理等への取組み	0	0	1	0	1	2	0	0	3	0	1	4
18位	18位	4-3-1-③情報交換の活性化	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2
18位	18位	4-4-1-③3市への情報発信の強化	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2
20位	18位	4-4-1-②3市における情報共有の促進	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1

結果の分析

ごみゼロプランの施策は全部で28施策と多岐に渡っており、その中から上位5施策を選んいただきましたが、選ばれた施策は20施策ということで、かなり分散された回答となりました。どれも重要な施策となっているため、甲乙つけがたい内容だったことが伺われます。

1位となった「プラスチック類の減量及び分別回収・リサイクルのための働きかけ」については身近なプラスチックを削減していくことの重要性が着目されて1位になったものと思われます。

2～4位にかけてごみ減量の意識を高めるための施策が集中しました。広報媒体や普及啓発事業、システムの導入といった様々な手法を使ってPRしていくことが重要と考える方が多いのではないかと思います。

同率4位で「生ごみの更なる減量に向けた取組み」が入りました。1位で挙げられている方が多いですが、人数としては中位となっており、人によって評価に差があることが考えられます。

Q2:ごみゼロプランの施策の中で特に力を入れていった方が良い施策を選択してください。

得点順	項目	順位	理由
1	4-2-3-⑤プラスチック類の減量及び分別回収・リサイクルのための働きかけ	1位	すぐに取り組みそうだから。
		2位	生活していてプラスチック類の廃棄があまりにも多いのでなんとかしたい。
		2位	コロナ以降のライフスタイルの変化で家での容器プラの排出量は増えており家庭での気付きが大切です。
		2位	
		2位	プラスチックごみの約半分は可燃ごみや不燃ごみとして排出され、焼却されてCO2を発生させており、プラスチックごみの減量や資源化を進める必要があります。 プラスチックごみの減量・資源化を進めるためには、マイバッグ・マイボトルの持参、使い捨て製品の使用削減、店頭回収の利用などを促進するとともに、資源としての分別排出を徹底することが必要です。 なお、可燃ごみや不燃ごみとして排出されるプラスチックごみの約半分は、汚れたプラスチックとして可燃ごみや不燃ごみに入れられていると推測されます。できるだけ汚れを取り除いて資源物として分別排出することを習慣化する必要があります。
		3位	日常生活にあまりにも多くのプラスチック製品、容器包装プラスチックが使われており、個人の意識変容や努力だけでこれに対処するのは不可能。社会システム全体で問題認識をして取り組むべき。
		3位	プラスチック総量を減らしていくための取組みを強化させる必要がある。
2	4-3-1-①情報紙・市報等による普及啓発・情報提供	3位	例えばペットボトル回収・リサイクルだけでなく、容器に使われているPET樹脂全般のリサイクルも今後関心が高まると思われます。洗って出せば再資源化でき、価値が高いPET樹脂の回収・リサイクルに取り組んでいくことは重要と考えます。
		1位	様々なごみ減量、資源化の取り組みには、まず市民の分別等に関する更なる協力度向上が必要と考える（既に全国レベルではトップクラスである）。このため、情報発信方法も含め検討が必要と考える。
		2位	ごみ量を減らしていくためには、啓発活動が重要であると考え。各世代に合わせた啓発を行っていく必要があると思う。
		2位	第1位の選択利用鶏と同様ですが情報誌、市報という紙媒体の情報発信もリサイクルに回らなければごみになります。 SNSや教育の場での発信を進めるべきと思います。
		3位	

2	4-3-1-①情報紙・市報等による普及啓発・情報提供	3位	1人でも多くの市民にごみ減量への意識を持ってもらうが大切だと思います。 SNS等で今まで興味のなかった市民に知ってもらう。 若い世代の人が違った角度から、SNSに繋がり結果的にごみ減量に意識を持つ様にする。 例として、TikTokやTwitter等
		4位	ごみ減量・資源化を推進するためには、ごみ減量・資源化についての意識向上と行動を促すための普及啓発と、必要な取り組みの周知徹底を図るための情報提供が不可欠です。 普及啓発においては、ごみ減量・資源化を自分ごととして意識してもらうようにする啓発と、それを行動に結びつける啓発が重要です。 啓発・情報媒体としては、情報誌エコー、市報ごみ・資源分別カレンダー、ホームページ、ごみ分別アプリ、日野市LINEなどを有効に活用していく必要があります。
		5位	若い人たちにも行っていることを知った貰った方が良いと思うから
		5位	知らせる事が第一だと思います。
3	4-1-1-④ごみの減量意識向上に繋がるシステムの導入検討	1位	継続的なごみの削減の取り組みにより効果を上げるには、対処的な施策ではなく発生原因へのアプローチが必要であり、市民一人ひとりが日常的に価値や行動を転換していくような仕組みが必要であると思います。
		1位	ごみを減量するという意識をもってもらう、まずここからではないか、と思います。
		1位	
		2位	上記の意識を変えていくためにも必要
		5位	先進事例を共有し、そんなシステムがあれば導入してみたい。
4	4-3-1-②ごみ学習推進プログラム	1位	なぜ、ごみを減らさないかを理解して納得できないと、減量取り組み意欲がでないから。得に小さな子供へ知ってほしい。
		1位	私自身単身赴任でアパートで1人で暮らしていますが他の住人は学生または社会人の男性ばかりなように全くごみの分別ルールを守らない住人ばかりでプラスチックを分別して出しているのは私だけという状況です。日野、多摩、八王子地区は大学も多く若年層の流入地区となっておりその世代はたぶん広報誌を熱心に見てごみの分別に取り組もうという人は少ないと思います。大学はじめ教育機関と連携した啓蒙活動がもっとも必要だと考えます。
		2位	すでに取り組まれていると思いますが、市内の生徒児童への授業の中で、正しい知識をつけてもらう取り組み強化は重要と思います。
		3位	
		4位	小中学生に対しての学習の強化、SDGsやサステナブル等の世界的観点から、もう一步踏み込んだ学習プログラムを身に着けて行く大切さを知ってもらい、ごみ減量の知識や興味を生涯持ち続けて欲しい。

4	4-1-2-⑧生ごみの更なる減量に向けた取組み	1位	生ごみの80%以上が水分。燃えにくい水を、わざわざ膨大なエネルギーとコストをかけて燃やしている。2021年度の一般廃棄物の処理費は「2兆1,499億円」と環境省が発表した。可燃ごみの約40～50%が生ごみなので、日本は国民の税金の1兆円をかけて水を無駄に燃やしている。生ごみは、高騰する肥料や飼料にすることで、気候危機の対策としても期待されているため。
		1位	ごみの大部分を占めているのが生ごみであるため、全体ごみ量を減らしていくには、生ごみを減らしていかななくてはならないため。
		1位	生ごみは、可燃ごみの33%を占め、焼却によって地球温暖化の原因となるCO2を発生させています。その中身は、発生要因によって、直接廃棄（手かずのままの廃棄）、食べ残し、調理くずの3つに分類されています。 直接廃棄と食べ残しは、食べられるのに捨てられている食品ロスとなっています。食品ロスについては、“もったいない”にこだわり、発生させないよう心がけるとともに、手つかずの余っている食品はフードドライブへ提供し、廃棄しないよう呼びかけていく必要があります。 また、発生した生ごみは自家処理や中・長期的には分別収集・資源化を進め、焼却を減らしていく必要があります。
		2位	他の生ごみ関連項目と同様となるが、食品ロス対策、可燃ごみ量減量、可燃ごみ熱量向上（発電に有利）といった点から、技術的・市民協力的には難しい課題であるが、最優先としたい。
6	4-2-2-④事業系食品廃棄物減量・リサイクルに向けた取り組みの推進	3位	飲食店の生ごみを活用する仕組みがあれば、かなりの量が削減できそうだから。
		3位	事業系から取り組む事で、かなり高い減量成果があると考えられるから。
		3位	
		3位	事業系についても焼却されている場合もあるため、極力資源化する方向を検討するべきではないか。民間事業者へのお願いになるが、丁寧な協力依頼が必要と思われる。
		4位	包装容器の削減には事業者の協力が不可欠だと思います。
		4位	
		5位	事業系の生ごみを減量する為に、見切り品情報をアプリ等のシステムを使い安価で提供する取組を活用できれば、ごみ減量・消費者・事業者にとっても良いと思います。
7	4-1-1-⑥拡大生産者責任の徹底に向けた働きかけ	1位	ごみの排出元から意識が変わっていかないと根本的なごみ処理問題は解決しない
		2位	販売方法の工夫により過剰包装など減らすことができるのではないかなと思う。
		2位	韓国は、政府が生ごみのリサイクルを義務化することで、リサイクル率は97%を超えている。ごみ削減に一番効果があるのは、政府に拡大生産者責任を認めさせることだと思うから。
		4位	3番と同様。生産者側の改善に期待しても一向に改善されず、ほんの一部の形式的な取り組みに終わっている。サプライチェーン全体で変えていく意識を持たなければ改善されない。
		5位	

8	4-2-2-②家庭内における生ごみの減量・資源化の促進	1位	ゴミ削減の担い手は市民だと思います。各家庭のわずかな削減が全体として大きな効果を生むと思います。
		1位	可燃ごみの中に、資源に出来る紙が40パーセント近く混ざっています。可燃ごみ減量に大きく繋がる施策になる。
		2位	上記と同様ですが、生ごみの量を減らさなければゴミの燃焼効率が悪くなり、燃料の使用や石油由来のゴミの焼却などに依存する形になり、CO2発生が増加につながります。
		5位	各家庭で少しでも意識してもらえることでちりも積もれば山のなるの成果を期待できる。また費用がかからないと思われる。 ごみを減らすために高額なお金を使用されるのは虚しいです。
9	4-1-1-③リユースの促進	1位	粗大ごみの中にリユース可能なものも多いはずだが、全体量に対して、引取り希望者とマッチングさせる仕組みは追い付いていないのではないのでしょうか。リユースにつなげる仕組みの強化とともに、ごみとして排出する前に一度リユース可能かどうか考えることの啓発や意識喚起も必要だと思います。
		3位	
		4位	リサイクル事務所・ジモティーをさらに活用してもらうような仕組みが必要だと考える。
		5位	上記と同じ
10	4-2-2-③地域内での生ごみ循環の促進	2位	自宅のみでの生ごみ循環というより、自治会単位やマンションでの取り組みなど出来そうなので。
		4位	比較的効率がよいと思われるから。
		4位	プランでは、市、組合によるたい肥化事業拠点の記載がある。この点は、たい肥の需要、受け入れ農家等など検討課題も多い。必ずしも推進することが良いかどうか不明なので、調査・検討が必要と考える。
		4位	住民参加型の環境対策として広く浸透することで、目に見える形でのごみ減量に結び付く取組みなるのではないのでしょうか。
11	4-1-1-⑤推進体制の強化	2位	
		3位	必然的に体制の強化も必要
		4位	
12	4-2-5-⑦リサイクル品目拡大・拡充の検討	2位	今まで可燃ごみとして捨てられていた、資源を新たな品目として回収する。 例として難処理古紙等・シュレッダー等
		4位	リサイクル品目が拡大していくのは良いと思うから

12	4-2-5-⑦リサイクル品目拡大・拡充の検討	5位	現段階では技術的に分別が難しくリサイクルされないゴミも多くあると思うが、資源循環型社会、ごみゼロ社会の実現のためには少しでも多くの品目をリサイクルに回さなければならないと思います。
		5位	新たにリサイクルを始めることを発信していくことで、ごみ減量・リサイクルへの意識を高めることができると思うので。
13	4-4-3-⑤災害時対策の強化	1位	巨大災害や水災害発生時、コロナ感染症などのパンデミックが起きたときのゴミ収集に関する対応策を整えておく必要があるのではないかと考えています。
		5位	プラン記載内容ではないが、災害発生時に、各家庭からの排出方法や仮置き場の周知など情報発信も含めた内容を議論すべき（水害、震災他ケース別など）。ごみ減量・リサイクルの内容ではないが、市民、行政で意見交換があると良い。
14	4-1-1-②レジ袋の削減・指定ごみ袋の工夫	3位	スーパーで有料のゴミ袋をレジ袋として販売しているのは良いと思ったので、周知に力を入れた方が良いと思うから。
		4位	レジごみ袋は、非常に好評いただいております。今度はプラスチック分別推進のためにもプラスチック用レジごみ袋も作成してはいかがでしょうか。
15	4-1-1-①容器包装お返し大作戦・販売店回収の強化	4位	様々な手段を考えていくのも必要
		5位	メーカーや販売店は、本来、商品だけではなく、使用後のリサイクルやごみ処理にも責任を負っています。 容器包装や新聞紙を販売店に返すことによって、市民の税金で負担している市の収集・処理費用が削減されるとともに、ごみ減量にも寄与します。 販売店回収の利用を促進する一方、店舗の回収品目や回収協力店舗の拡大を図っていくことが必要です。
		5位	
15	4-2-1-①分別状況確認の強化	3位	古紙、古着・古布、剪定枝、プラスチック、缶、びん、小型家電、金属などの資源物の多くが可燃ごみや不燃ごみとして排出されています。そのため、総資源化率も30%台で低迷しています。可燃ごみや不燃ごみとして排出された資源物は、大部分が焼却されており、貴重な資源が失われています。 “分ければ資源、混ぜれば”を合言葉に、資源物の分別排出を徹底するようより一層啓発を強化していく必要があります。分別排出を徹底するためには、分別状況を見える化するとともに、可燃ごみや不燃ごみを出す前に、資源物が混入していないかどうか点検することを習慣化することが必要です。
		5位	燃えるごみの中にプラスチックが入っている割合や分別されないことでどれだけ環境に負荷を与えているかなど数値化して提示しわれわれの意識が変わることを期待します。

15	4-5-3-⑤市民との連携によるごみ減量・適正処理等への取組み	3位	イオンモール多摩平の森では防災ウィークとして消防車等緊急車両の展示、体験会などは小さな子供たちの関心を集め多くのお客さまが興味を示してくれています。レジごみ袋の販売イベントやマスコミで取り上げられたことで関心持って販売数量も伸びています。そのようにイオンモールなどでイベントを実施してみてはいかがでしょうか。
		5位	
18	4-3-1-③情報交換の活性化	4位	飲食店の生ごみをリサイクルし、サーキュラーエコノミーに高めるには、まちぐるみで顔の見える関係性が大切だから。
18	4-4-1-③3市への情報発信の強化	4位	他市の動向に興味がある。
20	4-4-1-②3市における情報共有の促進	5位	連携する3市が足並みを揃え、課題を共有しながら取組んでいく気運を育んでいくことは、広域的な課題解決につなげる上で重要と思います。

Q3:今後、さらなるごみ減量・リサイクルに向けて、協議会の議題として取り上げた方がよいものはありますか。

分類		項番	回答
ごみ減量	プラ	1	プラゴミ削減のための市民、事業者、自治体の役割の見直し。多様な組み合わせを
		2	プラスチック製品の使い捨てのものを極力減らし、繰り返し使えるものを推進する。
	生ごみ	3	まちづくり条例に基づく、農のある暮らしづくり協議会では、生ごみの受け皿にもなるコミュニティガーデンを増やす活動をおこなっている。社会課題解決の場としても注目されるこの取り組みは、「アーバンファームिंग」という名前でも広がり、ニューヨークだけでも500か所以上ある。ごみ減量は、市民にもメリットがあり、自ら進んで楽しみながら続けられるような仕組みを検討したい。
		4	4-2-2-2 家庭内における生ごみの減量・資源化の促進
	脱炭素	5	脱炭素社会の実現に向けて、個人や家庭でできることは限られているが、ゴミは一番身近にある取り組みだと思います。なぜゴミを減らさなければならないのか、脱炭素や気候問題と合わせて考えることにより、よりその必要性を理解できるのではないかと思います。
リサイクル		6	資源物回収やリサイクル全般について
情報発信		7	若年層から高齢層まで、各世代に届く情報発信内容および手法について、整理することは必要と思います。
		8	個別の施策では無いのですが、ゴミの減量及び分別回収、リサイクルを行うことによる市民のメリットを発信した方が良いと思います。
		9	市民向けの啓発・啓蒙活動の手法を検討出来ると良いですね。
		10	出来るだけ小さな単位でのごみ分別に対する説明会等のレクチャー（一度きりではなく何度も）
重要施策		11	Q2への回答項目と同じです。
他の事例		12	他自治体のごみ減量・リサイクルの取組み事例の紹介から、日野市でも行えそうなもの・改良すればできそうなもの等を検討する。
		13	他地区の事例で参考にできそうな取組みを題材に取り上げての意見交換
		14	外国の情報現状などを勉強したい。
その他		15	すいません特に思いつきません。

今後の協議会の議題について

Q2で回答いただいたようなプラごみ、生ごみの削減やリサイクル、これらを効果的に実施していくための情報発信等の上位の課題について、協議会のテーマとして重点的に取り扱うことを基本としながら、他自治体等の新たな取り組みに関して情報収集を行い、市の施策に活かしていきたいと思います。

その際に、脱炭素や気候問題という視点を持ち、ごみの減量を行うメリットをアピールしていきたいと思います。

Q4:会議の進め方として、このような方法で進めた方が良いということがあれば教えてください。

項番	回答
1	内容の理解や、多面的な発想の反映、また参加意識を持ってもらうためにも、委員会で意見をもらうような形ではなく、テーマ別の討議やワーキングでやるのも一つの方法ではないかと思います。
2	世代、属性、自治体の三者でのグループ討議が良いかと思います。
3	小人数でテーマに沿ったグループ会議が良いのではないのでしょうか。
4	少人数のグループでのミーティングを検討されている話をされていまして、その取組で行ってみたい。
5	意見が出やすいように、グループ討議を取り入れる時があっても良いと思います。
6	発言者が偏らないように、状況やテーマによってはグループワーク形式があっても良いと思います。
7	グループ討議カフェ形式で実施する機会もよいと思いますが、識者だけの意見に流され非現実的な自己満足で終わってしまうような会議はどうかと思います。
8	負担感を減らし楽しく有意義な会議とするには、まずは1対1で話す「トークフォークダンス」でメンバー同士が安心できる人間関係を培うこともひとつの方法かも。
9	いろいろな手法を試みてみてもよいと考える。同じテーマでも、やり方により、意見が異なるかもしれません。
10	現在の進め方でよいと思う
11	特にありません。
12	特になし。
13	今はわかりません。

会議の進め方について

会議の進め方についてはグループ討議も取り入れながら、その時の議題に適した方法を柔軟に検討していった方がよいようです。ごみ減量施策についてはトライ＆エラーで新たな手法を検討していくことも必要であるため、様々なアイデア出しを行うこともあるかもしれませんが、最終的には実現可能性ということを重視し、施策への反映を検討していきたいと考えております。

Q5:ごみ情報誌「エコー」でどのような記事を読みたいですか。

項番	回答
1	家庭で出来るゴミ削減の裏技！
2	資源物の分別の正誤
3	食品ロス関連（家庭での取り組み方法や、フードドライブ他の取り組み例）の紹介が続くと良いのではないのでしょうか。
4	日野市の各ごみが、どこで、だれに、どのように、リサイクルまたは最終処分されているかの取材記事。
5	回収した資源物の販売価格及びその使い道。
6	日野市のごみ減量状況、取り組み、他の行政が取り組んでいるごみ減量等。
7	他自治体との比較ができ、現在の日野市を知ることができるような記事
8	全国の先駆的な事例などを紹介し、市の施策にも取り入れるようなことができればと思います。また、市の取り組みだけでなく、市内の事業者や市民の取り組みをクローズアップすると共感を持って取り組んでもらえるのではないかと思います。
9	カフェサロンの開催のお知らせとかあると嬉しい。
10	日野市の自然環境を取り上げた記事（生き物、植物など）
11	抽象的ですが、子供から大人まで関心を持ってもらえる記事。例えば、イベントにエコー持ってきたらレジごみ袋プレゼントする企画とか。
12	意識向上を促す啓発記事を増やしてほしい。
13	現況の内容を続ける事に意味がある様に感じます。

今後のエコーの記事について

行政側が発信する情報について読み手が読みたいものにしていくため、ご意見を伺いました。ご家庭でできる身近な取り組みから、日野市の市民・事業者・行政の取り組み等をいただいたご意見を参考に検討させていただきます。

Q6:その他、協議会に対するご意見があれば、ご記入ください。

項番	回答
1	他業種の方や年齢層も広く、多様な意見が望める会だと思いますので、有意義な意見のでの会議の場であって欲しいです。
2	廃棄問題（ごみ問題）に興味を持たない方々が、協議会に出席したいと思える仕組みが出来ると良いですね。
3	協議会の開催頻度か空きすぎて熱がつづかない。 協議会の事務局であるにもかかわらず、行政には頻繁に人事異動があり、市民との信頼関係がその度に白紙に戻るのは疑問。
4	一部の団体さんが熱心に盛り上がる活動ではなく日野市民の多くが関心を持って取り組む活動にしてほしいです。
5	今回、初めて委員会活動をしました但しコロナでリアル会議の機会が少なかった。議論を更に発展させる為に次の2年間も継続して委員会に参加出来たらと思います。
6	個人的に、日野市内地域別のゴミ出し事情が知りたい。ごみの多い地域、少ない地域など。
7	面倒だとは思いますが、クリーンセンターだけでなく、いろいろな場所でやると協議会の存在を知って頂くきっかけにまでなるのではないのでしょうか？
8	事務局は、多くの議題や進捗状況の報告で大変ご苦労だと思っています。
9	特になし
10	特になし。
11	特にございません。

今後の協議会について

協議会は市民、事業者、行政が集い協議する貴重な場であると考えており、有意義な会議にしていきたいと考えております。基本的には日頃、市民、事業者、行政がごみ減量・リサイクル等を意識しながら活動されていると思いますので、その中で感じたこと等を持ち寄りながら日野市全体のごみ減量・リサイクル等の施策に広げていけるように工夫していきたいと考えております。

活動頻度が多くなると会の参加が難しくなり、過半数を超える参加者の確保も難しくなる可能性もあるため、回数を重ねる必要があるものについては既存もしくは新規のプロジェクトチーム（現在設置されているのは「生ごみリサイクルサポーター連絡会」）の活動に委ねていくことになると考えております。

皆様から頂いたご意見を参考に今後の協議会を検討していきます。